

新潟県立看護大学 令和6年度入学者選抜 解答・解答例

第1 学校推薦型選抜・社会人選抜「小論文」解答・解答例（2023年11月18日実施）

問題1	問1 (解答例)	① 高温が夜通し続くため、十分な休息が取れず、そのことが原因で、多くの高齢者が死亡している。 ② 犬は、人間のように汗をかいて体を冷やすことがないため、体温は人間よりも上昇しやすい。
	問2 (解答例)	<例1> To avoid heatstroke, I would drink plenty of water and not do exercise during the hottest part of the day. <例2> It is a good idea to wear loose-fitting clothing in hot weather. Using an air-conditioner to control the temperature is also beneficial.
	問3 (解答例)	地球温暖化は、私たちの健康のみならず、地球全体の生態系にも悪影響を及ぼしている。近年では、豪雨や干ばつなどの自然災害、農作物への影響などが深刻視される。地球温暖化は、私たちがエネルギーを大量消費することにより生み出される現象だ。快適すぎる生活を見直し、一人一人が、身近な生活の中で地道に省エネに取り組む努力が必要である。

問題2	問1 (解答例)	<例1> 昭和52年から令和元年までの新潟県および全国の平均食塩摂取量はどちらも概ね減少傾向にある。 <例2> 新潟県の1日あたりの平均食塩摂取量は全国よりも多かったが、近年はほぼ同程度である。
	問2 (解答例)	平成20年から令和元年にかけて、塩、味噌、しょうゆによる食塩摂取量が他の食品に比べて大きく減少しており、これらが1日当たりの食塩摂取量（合計値）減少の要因であると考えられる。
	問3 (解答例)	近年、新潟県民の食塩摂取量は減少しているが、依然として食塩摂取目標量よりも多いため、引き続き減塩に取り組む必要がある。減塩を行うためには、減塩調味料を積極的に使用したり、調味料の使用量を減らすこと、そして食塩摂取量を記録して、摂取量を把握することが効果的であり、これらの行動により、食塩摂取目標量に近づくことができると私は考える。

※ここに示した解答例は一例です。

問題 3	問 1 (解答)	①自賛・自讃 ②委 ③切迫
	問 2 (解答)	権力者（あるいは強者）と 賢者
	問 3 (解答例)	韓非子では「賢者が支配すべきか、強者が支配すべきか」という議論の中で「矛盾」の喩えが引かれており、もし議論の結論が「強者が支配すべきだ」と決まっているなら、それは少しも矛盾していないから。
	問 4 (解答例)	賢者と強者というふたつの力が同時に、等権利的に存在することによって、国を強大たらしめることが可能になるから。
	問 5 (解答例)	人が異なるロールモデルから異なるアドバイスを受けた場合、それぞれの視点を比較検討する過程で成長のプロセスに入る。例えば、人生をどのように生きていくべきか、との問いに対して、ある友人は勇気を持って冒険を推進する重要性を示唆し、別の友人は生活の安定を強調するかもしれない。この矛盾を比較検討した結果、自身の価値観や目標を再評価し、バランスの取れた人生設計能力が向上する。

※ここに示した解答例は一例です。